

テーマ 25

集合住宅に適したコンパクトなEV充電設備の導入検証（袋井市）

1. 解決したい課題の内容

- ・袋井市を含む静岡県民は、移動手段として主に自家用車を優先する傾向（交通手段のうち85%を占める）にある。
- ・一方、運輸部門（交通・物流）における脱炭素推進には、自家用車のEVへの切り替えを促すことが課題の一つとなっている。
- ・EVの普及には、充電インフラの整備促進が不可欠であり、いわゆる「経路充電（急速充電）」の普及は国に任せることとして、市としては、「基礎充電（家庭等での充電）」のうち、集合住宅への充電設備の設置を促進したいと考えている。
- ・集合住宅への設置には採算性もさることながら設置スペースの確保が課題である。

2. 実現したい目標について

集合住宅1棟あたり、1台の充電ステーションの設置

3. 必要とする技術について

以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・既存の充電設備をコンパクトにできる、開発技術。

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

※実証内容は以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・市営住宅や民間の施設にて、提案技術を用いたプロトタイプ等を実証導入し、効果を検証

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・袋井市「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」
https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/16/2/keikaku_hokoku/12414.html